

原子炉利用研究者グループ総会 議事録

日時：2026年3月9日(月) 10:30 ～ 10:52

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（順不同・敬称略）

所外：16名 三浦勉(産業技術総合研究所)、青木伸(東京理科大学)、小林大志(京都大学)、北澤真一(量子科学技術研究開発機構)、増田明彦(産業技術総合研究所)、富井眞(大正大学)、白川真(岡山大学)、松本孔貴(筑波大学)、羽倉尚人(東京都市大学)、北田孝典(大阪大学)、清水美穂(帝京大学)、太田朋子(長岡技術科学大学)、村田勲(大阪大学)、小川数馬(金沢大学)、吉村崇(大阪大学)、池上麻衣子(京都大学)

所内：10名 櫻井良憲、高宮幸一、木野村淳、高田卓志、高田匠、天満敬、日野正裕、真田悠生、近藤夏子、川口昭夫

事務局：新野尚子

資料：

1. 令和7年度総会議事録（R7.2.14開催）
2. 令和7年決算報告書
3. 令和8年予算(案)
4. 令和8年度活動予定表（案）

議題：

1. 令和7年度総会議事録確認
2. 令和7年度事業報告・会計報告
3. 令和8年度予算案
4. 令和8年度活動予定
5. 当グループの今後について
6. 名誉会員の推薦について
7. その他

井川代表幹事の代理として櫻井総務幹事が司会進行を務め、議事次第に従い以下のとおり実施された。

1. 令和7年度総会議事録確認（櫻井幹事）

資料1に基づき説明が行われた。議事録は利用者グループのホームページに掲載されており、1週間内を目途に意見等を募り、特に意見が無ければ議事録を確定する旨の説明があった。

2. 令和7年度事業報告（櫻井幹事）・会計報告（高宮幹事）

研究会運営補助を実施し、補助金として6件分を支出したことが報告された。また、資料2に基づき会計報告について説明が行われた。益谷幹事により会計監査がなされ、会計処理の適正な実施が確認された旨、報告があった。特に意見はなく承認された。

3. 令和8年度予算案（櫻井幹事、高宮幹事）

資料3に基づき説明が行われた。10件分の研究会運営補助費、共同利用支援のための物品購入費、それらを差し引いた残額を予備費として計上している旨、説明があった。共

同利用支援のための物品購入については、KUR 運転停止に伴う共同利用者のニーズの変化に応えるように検討する旨、説明があった。特に意見はなく承認された。

4. 令和 8 年度活動予定（櫻井幹事）

資料 4 に基づき説明が行われた。幹事選出選挙および運営委員会委員・共同利用研究委員会委員の推薦者選出選挙が行われること、研究会補助を実施すること、共同利用支援のための物品を購入することに関して説明があった。特に意見はなく承認された。

5. 当グループの今後について（櫻井幹事）

KUR 運転停止に伴うグループの名称変更について、幹事会にて「(京大) 複合研利用研究者グループ」などの提案がなされたこと、英語名称を検討することについて説明があった。また、各委員推薦者の選出選挙や研究会運営補助に関する事務的な観点から、グループの年度の区切り（1～12 月）を大学の年度（4 月～3 月）に合わせてはどうかという提案がなされた。これらについて特に意見はなかった。

今後、幹事会にて検討を進め、次回の総会での承認を経た後、翌年 4 月から新年度を開始する計画であるとの説明があった。意見等があればメール等で随時連絡いただくよう依頼があった。

6. 名誉会員の推薦について（櫻井幹事）

京大複合研の今年度末の定年退職教員（三澤毅教授、藤川陽子教授）を推薦することが幹事会にて承認され、被推薦者本人の了承を得たのち名誉会員として決定する旨、説明があった。今回、所外からの名誉会員の推薦はなかったが、対象者がいる場合はメール等で連絡いただくよう依頼があった。

7. その他

その他の議題は特に無かった。

櫻井総務幹事より閉会の挨拶がなされ、閉会した。

以上